

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 令和 5 年 3 月 7 日(2023.3.7)

【公開番号】 特開 2022-188128(P2022-188128A)
【公開日】 令和 4 年 12 月 20 日(2022.12.20)
【年通号数】 公開公報(特許)2022-234
【出願番号】 特願 2022-151630(P2022-151630)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/61(2014.01)

H 0 4 N 19/186(2014.01)

H 0 4 N 19/463(2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/61

H 0 4 N 19/186

H 0 4 N 19/463

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 2 月 27 日(2023.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビデオデータを復号する装置であって、

現在の画像領域における変換残差サンプルデータを判定するため、及び、色変換パラメータを判定するため、符号化ビデオデータを復号する手段と、
前記色変換パラメータから、前記現在の画像領域における選択された逆色変換を判定する手段と、

逆変換残差サンプルデータを生成するために前記変換残差サンプルデータに対して前記選択された逆色変換を実行する手段と、

出力ビデオにおける前記現在の画像領域の復元画像データを生成するため、前記逆変換残差サンプルデータと動き予測画像データとを組み合わせる手段と

を有し、

前記現在の画像領域は変換ユニット(TU)であり、前記選択された逆色変換を特定する前記符号化ビデオデータは、変換ユニットシンタックスに含まれる

ことを特徴とする装置。

【請求項 2】

前記逆変換残差サンプルデータの第 1 の色成分は、前記変換残差サンプルデータの 1 つの色成分だけに基づいて生成され、

前記逆変換残差サンプルデータの他の色成分は、前記逆変換残差サンプルデータの第 1 の色成分に基づいて予測される、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記符号化ビデオデータは個々の色成分に分割され、前記色成分それぞれへの処理経路は互いに分離されていることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記符号化ビデオデータを復号する手段は、エン트로ピー復号する手段を含むことを特

10

20

30

40

50

徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記選択された逆色変換を特定する符号化ビデオデータは、前記選択された逆色変換の 2 つの係数を特定することを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

10

20

30

40

50